

# 平成23年度 エイジレス・ライフ実践者及び社会参加活動事例の募集

内閣府ではエイジレス・ライフ（年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由で生き生きとした生活を送る）を実践している高齢者、地域で社会参加活動を積極的に行っている高齢者のグループを広く紹介し、既に高齢期を迎え、又はこれから迎えようとする世代の高齢期における生活の参考としてもらうために、これら活動事例の募集を行っています。

**募集する活動事例**

①エイジレス・ライフ実践者（概ね65歳以上の方）

- ・過去に培った知識や経験を活かし、高齢期の生活で社会に還元し活躍している。
- ・自らの時間を活用し、近所づきあいや仲間うちなどでの支え合い活動に積極的に貢献している。
- ・中高年から一念発起して、物事を成しとげた。
- ・壮年期において達成した地位や体面などにとらわれることなく、高齢期を新しい価値観で生き生きと生活している。



・自らの努力、習練等により、優れた体力・気力等を維持し活躍している。

・地域社会のなかで、地域住民のリーダーやコーディネーター的な役割を發揮し、生き生きと生活している。

②社会参加活動

- ・積極的な活動（支え合い活動やスポーツ、教育、安全管理など）を通じ、社会とのかかわりを持ち、生き生きと充実した生活を送っている概ね65歳以上の方が中心となって構成しているグループ等

## 推薦方法

健康福祉課福祉グループ（追分庁舎）又は住民総合相談室（早来庁舎）の窓口にある推薦書を3月25日（金）までに提出してください。（自薦推薦を問わず。）

## 紹介事例の決定等

推薦のあった事例について、選考委員会から意見を聴取し決定します。

決定した事例については、書状と記念の楯を授与します。

## 紹介方法

決定した事例については、内閣府が主催する行事において事例の紹介するなど広く周知を行います。

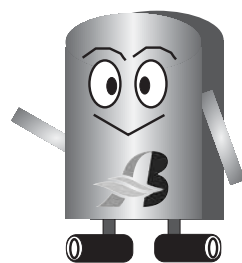
## 問合せ

健康福祉課福祉グループ

☎ 25 4 5 5 6

## 貴重なご提言ありがとうございました。

無記名や匿名でいただいたご提言やご意見について、回答します。



長期休業中の園児の遊び場について  
夏休みや冬休みの休業中における遊び場として、支援センターや児童館の開放を希望します。

保護者同伴などの条件があっても構わないので、小さい子どもが遊べるように許可して欲しい。（1月・匿名）

【回答】健康福祉課福祉グループ



長期休業期間は、家庭の教育力を發揮する期間です。家事の手伝いや家庭でしかできない遊びを体験させましょう。

公共施設の開放については、児童福祉施設に限らず、公民館等の開放や事業の必要性について協議・検討をします。

町では、町内の10か所に提案箱を設置し、皆さんのご提言やご意見を行政に反映するよう務めています。無記名のご提言への回答は広報により行いますので時間がかかります。

ていあん用紙には必ず氏名と住所の記載をお願いします。

## 提案箱設置箇所

役場（両庁舎）、追分公民館、ぬくもりセンター、追分郵便局、北海道銀行追分支店、安平公民館、遠浅公民館、みずほ館、早来町民センター

## 問合せ

企画課企画グループ

☎ 22 2 7 5 1